

♡ 子どもの心のサインを知る・寄り添うための講座

2016年10月スタート、毎月第2・4木曜日開催。 ※杉並子育て応援券をご利用頂けます



表情やしぐさ、遊びや絵、行動・・・

子どもから発せられるものには、

心を知る手がかりが多分に含まれています。

子どもの心のサインをどう読み取り、返していくのか、

臨床心理士で子どもの非言語表現を専門とする講師の元、

表現体験を交えながら学びます。

開催日：毎月第2、第4木曜日 10:00～11:30

会場：アップコンセプト・スタジオ（杉並区下井草 4-31-15 和光マンション）

最寄駅 西武新宿線下井草駅、井荻駅 徒歩5分

対象者：子育て中の保護者

参加費：3000円（資料代、画材費込）※杉並子育て応援券をご利用頂けます。

主催：アップコンセプト www.apconcept.jp

お申込み方法：当団体ホームページ、プログラムの予約フォームより。または、
メール (studio@apconcept.jp) でお名前と参加希望日をご連絡ください。

お問合せ：studio@apconcept.jp または 070-6635-1515(スタジオ直通)

生まれたばかりの赤ちゃんは、お腹が空いたとき、オムツが濡れたとき、泣くことで不快感を周囲に伝えています。やがて機能が発達するにつれ、表情や身振り手振りなどによって、子どもと親は言葉を介さずにコミュニケーションしていきます。言葉を話し始めた後も、子ども達は自分の経験や気持ちを言葉にのせてうまく伝えることができず、身体的に表現することがあります。

「子どもとたくさん対話をするのがいい」育児書などではよく言われていることです。実際によく子どもに目を配り、懸命に対話をしようとするお父さん、お母さんが沢山います。一方で「それでどうしたいの?」「何が言いたいのかわからない!」言葉だけを頼りに子どもと対話をしようとするれば、大人がいらいらしてしまったり、子どもも痙攣を起こしたり、うまくいかないことが多いものです。真の意味での対話、良好な親子コミュニケーションのヒントは、非言語に隠されていると言えます。

私たちは、子ども時代を経験して大人になりました。子どもは大人のやり方がわかりませんが、大人は子どもの表現に寄り添うことができるのです。本講座では、実際にクレヨンを握ったり、身体を使ったり、簡単なエクササイズを体験しながらすすめていきます。また、体験ワークに加え、子どもの発達心理などについてのレクチャー、事例の紹介などを行っていきます。

■■■■■■■■■■ 講師 ■■■■■■■■■■

倉石 聡子 Akiko Kuraishi, MA

アートセラピスト、臨床心理士、東京都スクールカウンセラー。Notre Dame De Namur 大学院マレッジ・アンド・ファミリーセラピー/アートセラピー修士。米国の小学校、都内の小中学校、区立教育相談センター等でプレイセラピーやアートセラピーなどを用いた子どものカウンセリングや保護者の相談に15年以上関わる。また家族療法などを用いて親子関係の相談や、表現を用いた様々な研修、ワークショップ等を行っている。アップコンセプト・スタジオ代表。

